

診察室

処方入力(医師)



調剤室

処方監査



処方監査担当薬剤師が用法用量、薬品同士の相互作用などのチェックを行います。当院では、処方箋に禁忌薬品、これまでの処方歴、体重、腎機能などを表示し、効率的に確実な処方監査ができるようにしています。処方内容に疑問があれば、医師に問い合わせを行います。



散剤調剤



散剤を電子天秤で量り、分包機で1回分ずつ包装します。散剤監査システムを導入し、薬品の取り間違いや量り間違いを防いでいます。

計数調剤



錠剤やカプセル剤等を数えて取り揃えます。1回量が半錠の場合は、分割して包装します。また、種類が多く服用しにくい場合は1回分ずつの包装(一包装)も行います。

水剤調剤



水剤をメートグラスで量り、容器に入れ混ぜ合わせ、飲みやすい量へ調整します。

外用剤調剤



外用剤には、軟膏やローション剤などの塗り薬、坐薬、湿布薬、うがい薬、吸入薬、点眼薬などがあります。軟膏の混合や消毒液の希釈などを行います。



最終監査



全ての調剤が終わると、処方監査および調剤担当者とは異なる薬剤師が処方内容の再確認、調剤済み薬品の数と種類、薬袋、薬剤情報提供書に誤りがないかを最終確認します。散剤や水剤、混合調剤した軟膏では、中身が均一か、異物が混入していないか、量が適切かなども確認します。



投薬



会計終了後、お薬引換券を持って来られた患者さんに、番号を確認してお薬をお渡しします。新しく処方されるお薬やこれまでと内容に変更がある場合などは分かりやすく説明します。